平成３０年度

成田空港活用協議会総会

議案書

平成30年5月25日（金）

目　　次

議案第１号　平成２９年度事業報告について・・・・・　　１

議案第２号　平成２９年度収支決算について・・・・・　２４

議案第３号　平成３０年度事業計画（案）について・・　２６

議案第４号　平成３０年度収支予算（案）について・・　３１

議案第１号

平成２９年度 事業報告

１　総括 ～振り返り～

○　会員の新たなビジネス展開に向けた会員間の連携･協働の場や情報提供の充実

圏央道沿線地域の開発やインバウンドの対応策など、会員の関心の高いテーマについてのセミナーをタイムリーに開催するとともに、国内線利用動向の経年変化の調査やインバウンド周遊動向調査など新たなビジネス展開に向けた支援を行った。

また、成田空港から県内への二次交通やかかる研究会など、複数の会員が持つ課題解決に向けた協働の場を提供した。

○　実需拡大に向けた“ナリタ”の魅力の更なる発信

圏央道茨城県区間の開通などをはじめ､交通アクセスの利便性が向上する中で、これらの効果が空港利用者の取り込みにつながるよう、千葉県内はもとより、圏央道沿線や国内線就航先などで積極的にプロモーションを実施し､“ナリタ”の魅力を発信した。

さらに、訪日外国人旅行者が年間２，８００万人を超えるなど、ますます増加する訪日旅行需要を取り込むため、会員と連携したランドオペレーターとの商談会や外国語のポータルサイトを利用した情報発信等を実施した。

昨年度に引き続き、親子バス見学ツアーなどによりナリタファンの拡大につなげた。また、学生連携プロジェクト「女子旅×成田ＬＣＣ」において、若年層の旅行需要の拡大に繋げるために継続した情報発信を行った。

○　就航先等との連携・交流を通じた誘客促進

平成２５年度から実施してきた北海道との交流を踏まえ、北海道・千葉交流パークゴルフ大会ＩＮ北海道を実施した。また、今後の民間同士による継続的な相互交流に向けた動きを促進していくために、「パークゴルフを通じた北海道と千葉県の交流促進に係る協定」を締結した。

また、プロ野球宮崎キャンプやマリスタジアムにおいてスポーツツーリズムをテーマとした､「誘客」「送客」一体となった双方向のプロモーションを実施した。

○　これまでの活動の総括と今後の展開の検討

平成２５年度に行った「成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査」を再度行うことで成田空港活用協議会の取り組みの成果を計る指標の１つとした。調査結果から国内線利用者の県内観光推進や若年層向けの国内線ＬＣＣ認知度向上、首都圏向けの成田空港利用促進の取り組みなどに成果が見られた。

５月の総会において、複数の会員から意見が提起されたことを受けて、協議会の事業期間の延長を含めた今後のあり方について、幹事会で検討を重ねた。

１１月の臨時総会において、幹事会の検討結果から、訪日外国人旅行客の飛躍的な増加やＬＣＣの就航による航空需要の増大や第三滑走路の整備をはじめとした成田空港の機能拡充に向けた新たな動き、圏央道（大栄－松尾横芝間）の年度内着工などの高速道路網の整備進展の動き、２０２０年東京オリンピック・パラリンピックの開催など、３０万回化の合意以降の大きな環境の変化を踏まえて、国際空港の立地を活かした経済活性化の可能性の拡大に対応するため、一定の活動期間を設定し、集中的に事業を行うため事業期間を５年間延長することを議題として提出するとともに、満場一致で期間延長が承認された。

主な成果

①　経済活性化セミナー

○　第１回セミナーでは、千葉県・成田空港と東北・北関東が圏央道でつながる意義・効果をどのように取り込んでいくかを考える機会を持つとともに、セミナーに併せて、圏央道大栄ＪＣＴ－幸手ＩＣ間を実際に利用し、幸手中央地区産業団地を視察するバスツアーを実施することで成田空港と北関東が圏央道でつながる意義・効果を体感することができた。

第２回セミナーでは、「千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査」の調査結果について説明し、インバウンドの取り込みの必要性や重要性と対応のポイントについて情報提供することが理解できた。

第３回セミナーでは、デービッド・アトキンソン氏（㈱小西美術工藝社 代表取締役社長）による“インバウンド観光需要をいかに千葉県経済の活性化につなげるか”と題した特別講演を実施し、今後のインバウンドの取り組みが活性化されることへの期待が高まった。

いずれも会員の関心が高いテーマであり、タイムリーに実施したことから、会員のビジネス展開に資するセミナーとすることができた。

② マーケットリサーチ

○　平成２５年度に行った「成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査」を再度行うことで成田空港活用協議会の取り組みの成果を計る指標の１つとするとともに、成田空港活用協議会の会員が千葉県内の観光・産業振興の取り組みに幅広く活用することができた。

　また、千葉県を訪れるインバウンドの県外を含む周遊動向などを探り、会員企業・団体がインバウンドを呼び込むための基礎データを収集することができた。

③ 会員の新たな事業展開等に向けた協働の場づくり

○　平成２８年度に行ったバス運行シミュレーションや千葉県のバス実証実験の結果から、採算人員を確保するため、インバウンドをターゲットにランドオペレーターを活用した誘客促進に取り組んだ。研究会を通して、二次交通には、まず地域を知ってもらい多くの人々に来てもらうことが優先であり、地元の魅力づくりが大切であるとの認識を持つことができた。

④ 北関東でのナリタＰＲ

○　圏央道境古河－つくば中央間の開通により、成田空港へのアクセス利便性が向上する『北関東エリア』において、国内線についても成田空港が便利であることを知ってもらうことを目的に千葉県と連携した前橋のショッピングモールを活用した旅行需要喚起策を実施し、成田空港の“認知度向上”を図ることができた。

⑤ 県内・首都圏エリアにおけるナリタＰＲ

○　県内向けでは、県内金融機関や駅などで成田空港の持つ豊富な航空ネットワークや交通利便性をＰＲすることができた。

　また、首都圏向けでは、昨年度に引き続き、東京駅近くにおいて、県の実施する期間限定アンテナショップ「ちばＩ・ＣＨＩ・ＢＡ」に出展し、首都圏から成田空港への充実した交通アクセスや豊富な航空ネットワークについてＰＲすることができた。

⑥ 海外向け誘客促進

○　昨年度に続き、東アジアや東南アジアの両地域を手掛けるランドオペレーターとの「商談会・交流会」を実施したところ、ランドオペレーターによる施設の視察など具体的な事業展開につながった。

また、昨年度に引き続き、外国人向けウェブマガジンを媒体に、外国人目線からの成田空港を中心とした県内観光地の魅力について、多言語による情報発信を行うことができた。

⑦　ナリタファンの拡大に向けた取組

○　成田空港をより身近な存在として認識し、親しみを持つナリタファンの拡大に向けては、昨年、一昨年と好評だった「成田空港親子見学バスツアー」を今年度も実施し、成田空港の魅力と安全運航のために真剣に働いている人たちの姿を伝えることができた。

また、会員向けに、空港の制限区域内の見学や空港周辺及び圏央道の将来展望などの説明を受けながら、圏央道の建設予定地等を見て回るバス見学を実施し、過去から現在へと続く成田空港の歴史と将来の展望を肌で感じていただくことができた。

⑧「女子旅×成田ＬＣＣ」を活用した国内線就航先ＰＲ

○　千葉県の魅力等について、若年層の女性がよく利用するＷＥＢ媒体やＳＮＳを活用した情報発信を行なうことで、ターゲット層へＰＲすることができた。

また、旅をテーマにした野外フェスや成田空港において、プロジェクト参加学生自身が取材を行った千葉県や就航先の魅力について、ＰＲする機会を作ることができた。

⑨　北海道との交流促進

○　通算で４回目となる「北海道・千葉交流パークゴルフ大会」及びパークゴルフモニターツアーを行った。また、パークゴルフを通じた道県の交流の促進を目的として、道県のパークゴルフ場が主体となり、プレー料金等のインセンティブの付与などを盛り込んだ協定を締結し、調印式を行った。協定の締結によりパークゴルフを通した相互交流がますます促進されることへの期待が高まった。

⑩　国内線就航先と連携したＰＲ、交流促進

○　県内のプロスポーツチームや就航先のプロスポーツキャンプと連携し、ビジター戦観戦には安くて､便利な成田ＬＣＣを利用してもらえるよう､誘客、送客一体となった相互ＰＲを行うことができた。

また、これまで交流を実施してきた北海道を対象に、地方メディア（テレビ及び新聞）を活用したプロモーション及び旅行会社と連携し、成田空港国内線

を利用した北海道発千葉県ツアーを造成・販売した。

⑪　要望活動

○　昨年に引き続き、関係２団体とともに、国等に対して圏央道と北千葉道路の整備推進に関する要望活動を行った。

２　事業の概要

（１）誘客促進事業

ア　国内線就航先との交流促進

①　北海道との相互交流の促進

平成２５年度から実施してきた北海道との意見交換などを踏まえ、平成２７、２８年度には相互交流を目的として、北海道・千葉交流パークゴルフ大会及びパークゴルフモニターツアーを道県において交互に実施した。

平成２９年度は、昨年度に引き続き、相互交流の定着を目的として、北海道・千葉交流パークゴルフ大会ＩＮ北海道を実施し、北海道へのパークゴルフモニターツアーなどを行った。

また、更なる展開として、今後の民間同士による継続的な相互交流に向けた動きを促進していくために、「パークゴルフを通じた北海道と千葉県の交流促進に係る協定」を締結した。

○北海道・千葉交流パークゴルフ大会ＩＮ北海道及び千葉県からのモニターツアー

平成２７、２８年度に引き続き、平成２９年度は、「北海道・千葉交流パークゴルフ大会ＩＮ北海道」及び千葉県からのモニターツアーを実施した。

《パークゴルフ大会、表彰式・交流会》

・日　時：平成２９年１０月５日（木）
・場　所：札幌パークゴルフ倶楽部福移の杜コース
・内　容：開会式、競技、表彰式・交流会
・参加者：１３９名（千葉県からのモニターツアー参加者３９名、北海道のパークゴルフ愛好者１００名）

《モニターツアー》

北海道・千葉交流パークゴルフ大会ＩＮ北海道の開催にあわせて、ＬＣＣや北海道でのパークゴルフの体験を目的としたモニターツアーを実施した。

・日　程：平成２９年１０月４日（水）～６日（金）
・参加者：３９名

・ツアー行程：

日次	月日	行程
1 日 目	10月4日 （水）	【往路ジェットスター便】 6:30集合　8:10発　　9:50着 成田空港　→✈→新千歳空港 →札幌パークゴルフ倶楽部福移の杜コース→ホテル 宿泊先：ホテルマイステイズプレミア札幌パーク
2 日 目	10月5日 （木）	午前：ホテル7:20→札幌パークゴルフ倶楽部福移の杜コース （北海道・千葉交流パークゴルフ大会IN北海道） 午後：表彰式・交流会(12:30～14:30) （交流会では景品が当たる抽選会も開催） →車窓観光（大通り公園・札幌時計台）→ホテル 宿泊先：ホテルマイステイズプレミア札幌パーク
3 日 目	10月6日 （金）	ホテル8:30→恵庭花夢里パーク→ 17:55発　　19:30着 →新千歳空港→✈→成田空港　到着後　各自解散 【復路ジェットスター便】

〇協定締結に係る調印式

公益社団法人日本パークゴルフ協会公認の北海道の４パークゴルフ場と同協会公認で関東パークゴルフ場協議会加入の千葉県の６パークゴルフ場がパークゴルフを通じた北海道と千葉県の交流を促進することを目的に協定を締結した。

・日　時：平成２９年１０月５日（木）（パークゴルフ大会開会式終了後）
・場　所：パークゴルフ大会会場内
・内　容：協定締結に係る調印式

②　女子旅×成田ＬＣＣの更なる展開について

平成２７年度学生連携事業として実施した『女子旅×成田ＬＣＣ』の発展形として、昨年度に引き続き、ターゲットである若年層の女性が良く利用するＷＥＢ媒体、ＳＮＳを活用し千葉県やＬＣＣの魅力について情報発信を行った。

また、千葉県及び周辺都県の若年層に向けた成田ＬＣＣの利用促進を目的とし、千葉県内での旅をテーマとしたイベントでのＰＲやＬＣＣ国内線就航先についての情報発信を実施した。

〇学生によるＳＮＳを活用した情報発信等

《Instagramアカウント『女子旅ｂｙ成田ＬＣＣ』での情報発信》

平成２８年１０月より開設した Instagram『女子旅×成田ＬＣＣ公式アカウント(jyoshitabi_naritalcc_official)』にて、「女子旅」をコンセプトとした画像を毎日紹介した。

開始から１年５か月でフォロワー数５，４００人を突破。「#lcc 女子旅」を付与した投稿も３５，０００件を超えた。

期間：平成２８年１０月１８日から平成３０年3月２３日まで

《千葉県情報、ＬＣＣ情報の発信》

学生メンバーが実際に千葉県内のスポットを現地調査し、ブログ等で情報発信を行なうとともに、ＬＣＣ情報（路線の紹介等）、成田空港情報など、学生のＬＣＣ利用にあたり関心のある情報の発信も行った。

ブログ記事は、ＳＮＳ（Facebook、Twitter など）とも同期させ、各媒体を通じた情報拡散も展開した。

〇「旅」をテーマとした千葉県内イベントでのプロモーション

日本で唯一の「旅」をテーマとして大型イベントであり、旅好きの若年層が集まる『旅祭２０１７』において、ＮＡＡと共同でブース出展を行い、参加者に対して成田ＬＣＣや千葉県内観光スポットのＰＲを実施した。

日程：平成２９年9月３日（日）

場所：千葉県立幕張海浜公園

〇沖縄の学生とのテレビ電話による意見交換会

沖縄観光コンベンションビューローの企画「学卒プロジェクト」に参加している沖縄県の学生とテレビ電話による意見交換会を実施した。

日程：平成２９年１０月２６日（木）

内容：千葉県及び沖縄県のイメージ、ＬＣＣのイメージ、ＳＮＳの利用状況、
　　千葉県への来訪状況　等

〇成田ＬＣＣを活用した就航先訪問及び情報発信

千葉県内及び周辺都県の若年層をターゲットとし、成田ＬＣＣの利用促進やＬＣＣ就航先の認知度向上を目的に、ＬＣＣ就航先をＰＲするパンフレットを作成し、成田空港内での情報発信を行った。

また、パンフレット設置初日に、学生が成田空港第３ターミナルにてプロモーションを実施した。

設置開始日：平成３０年３月２７日（火）
設 置 場 所 ：成田空港第１ターミナル　北ウイング１階国際線到着ロビー
南ウイング１階国際線到着ロビー
第２ターミナル　国内線ビル２階コンコース
第３ターミナル　本館２階フードコート脇
配布予定数：５，０００部程度

〈プロモーション〉
日時：平成３０年３月２７日（火）１４時～１６時
場所：成田空港第３ターミナル本館２階出入口前
内容：お客様へのパンフレット配布、「女子旅×成田ＬＣＣ」活動ＰＲ

③　スポーツツーリズムをテーマとした就航先との交流促進

千葉県内プロスポーツチームと連携し、ビジター戦観戦には安くて、便利な成田ＬＣＣを利用してもらえるよう、観戦に訪れた野球ファンにチラシを配布するとともに、就航先チームのファンにも成田ＬＣＣの魅力を知ってもらうためラジオＣＭを通じてＰＲを行った。

また、ジェットスター・ジャパンが新規就航した宮崎において、キャンプを見に来ている野球ファンに、宮崎からプロ野球観戦などで成田空港を利用してもらうためのＰＲを行った。

〇千葉ロッテマリーンズ

《オープン戦での成田空港活用ＰＲ》

オープン戦観戦に訪れた野球ファンに対し、豊富な成田空港国内線ネットワークやＬＣＣの安さの秘密、他の交通手段との比較などを紹介したチラシを配布した。
日　　程：平成３０年３月１７日（土）福岡ソフトバンクホークス戦
配布場所：ＺＯＺＯマリンスタジアム　入場ゲート
配布枚数：１０，０００枚

《プロ野球オープン戦期間中のラジオ放送ＣＭ》

就航先エリア（北海道・東北・福岡）及び千葉エリアのラジオ放送局で、プロ野球オープン戦期間中にラジオＣＭを通じてビジター戦観戦には安くて、便利な成田ＬＣＣを利用してもらえるようなＰＲを行った。

（１） 北海道エリアのオープン戦ラジオ放送でのラジオＣＭ
放 送 日　平成３０年３月２日（金)、３日（土）
放送番組　北海道日本ハムファイターズ対千葉ロッテマリーンズ戦
（ＨＢＣ北海道）

（２） 北海道、東北、福岡エリアのラジオ番組内でのラジオＣＭ
放 送 日　平成３０年３月２４日（土）
放送番組　三都物語（ＨＢＣ北海道、ＴＢＣ東北、ＲＫＢ毎日）

（３） 千葉エリアのラジオ番組内でのラジオＣＭ
放 送 日　３月毎週月曜日（計４回）
放送番組　We Love MARINES（ベイエフエム）

《新規就航先の宮崎でのＰＲ》

ジェットスター・ジャパンが新規就航した宮崎では、多くのプロ野球チームがキャンプを行っており、それを見に多くのファンが訪れていることから、ＮＡＡ及びジェットスター・ジャパンと連携のもとに宮崎からプロ野球観戦などで成田空港を利用してもらうために、出展ブースでのアンケートの実施やチラシ配布、ステージイベントを行った。
日程：平成３０年２月１０日（土）～平成３０年２月１２日（月）
場所：宮崎サンマリンスタジアム　出展ブース

④　就航先メディアを活用した情報発信

成田空港からの国内線就航先の方を千葉へ誘客するために、地方メディアを活用した情報発信を展開した。

た、旅行会社と連携し実際に千葉県へ足を運んでもらう機会を作り、千葉県に来ていただいた方へのアンケートを実施した。

《地方メディアを活用したプロモーション》

これまで交流を実施してきた北海道を対象に、地方メディア（テレビ及び新聞）を活用し、千葉県の観光資源やＬＣＣの利便性を知ってもらい、千葉県へ行きたいと思ってもらえるようなプロモーションを展開した。

（１）北海道でのテレビ放送
番組名：「イチオシ！モーニング 土曜日」
放送日：平成３０年２月２４日（土）

番組枠：９０分番組（６：３０～８：００）
特集コーナー放送枠：約１５分

（２）新聞への千葉県ＰＲ記事掲出
掲出日：平成３０年２月２４日（土）
掲出枠：１０段カラー
発行部数：６００，０００部程度

《北海道発千葉県ツアーとの連携による誘客及び情報収集》
旅行会社と連携し、成田空港国内線を利用した北海道発千葉県ツアーを造成・販売することで、千葉県への誘客を実現するとともに、ツアー参加者を対象としたアンケート調査による情報収集を行った。
ツアー名：「ぎゅぎゅっと房総イチオシ！スペシャル」
期　　間：平成３０年３月１９日（月）～５月２０日（日）　※二泊三日
予定本数：２４本

イ　海外向け誘客促進

○ランドオペレーターとの商談会の開催

千葉インバウンド促進協議会と共同で、旅行の地上手配を行うなど旅行商品の造成に深く関わるランドオペレーターに対して、会員企業・団体が直接ＰＲすることで今後の旅行商品の造成につなげることを目的として開催した。
実施日：平成３０年２月２２日（木）
会　場：オークラアカデミアパークホテル
参加者：ランドオペレーター　１３社
　　会員企業・団体　　３６団体（社）
　　（千葉インバウンド促進協議会会員を含む）

○海外向けWEBでの情報発信

千葉県やナリタの魅力をより多くの外国人に伝えるため、会員と連携して東京と成田空港の間の寄り道スポットやSNS映えするスポットについて、外国人向けウェブマガジンによる多言語の情報発信を行なった。
媒　　体：外国人向けウェブマガジン「Matcha」
配信言語：８か国語

（２）空港利用促進事業

ア　関東圏でのナリタＰＲ

①　県内、首都圏エリアにおけるナリタＰＲ

県内･首都圏における成田空港の更なる認知度向上及び利用者増を目的に、豊富な国内線・国際線ネットワークや、アクセス利便性の向上など、進化を続ける“ナリタ”の魅力について情報発信を実施した。

〇県内金融機関等での成田空港ＰＲポスターの掲出及びチラシの配布

期間：８月７日（月）から随時
場所：県内郵便局（６８９局)、県内会員金融機関、京成電鉄各駅　等
内容：国内線・国際線ネットワークや就航先の魅力の紹介
部数：ポスター８７７部、チラシ９，５５０部

〇東葛地区でのプロモーション

会員のＰＲパンフレット等の配布（400 部)、国内線ネットワークや就航ＬＣＣをＰＲするパネルの展示、「チーバくん」によるフォトグリーティング、航空機及び就航先のミニチュアを閉じこめた「氷のオブジェ」の展示を実施した。

日時：平成２９年８月９日（水）１３時～１８時
場所：ＪＲ柏駅東口前ダブルデッキ　Ｅスペース

〇県期間限定アンテナショップ「ちばＩ・ＣＨＩ・ＢＡ」でのプロモーション

出張や旅行などで成田空港を利用してもらうことを目的に会員のＰＲチラシの配布や「チーバくん」によるグリーティング、大型モニターでのＰＲ動画の放映、抽選会などを行い、首都圏から成田空港への充実した交通アクセスや豊富な就航先についてＰＲした。

日時：平成２９年１２月１１日（月）１１時３０分～１５時３０分
場所：ＪＰタワー「ＫＩＴＴＥ」地下１階
　　東京シティアイパフォーマンスゾーン
　　千葉県アンテナショップ「ちばＩ・ＣＨＩ・ＢＡ」

②　北関東でのナリタＰＲ

圏央道（境古河ＩＣ～つくば中央ＩＣ間）の開通により、成田空港へのアクセス利便性が向上した『北関東エリア（群馬)』において、千葉県夏の観光ＰＲイベントの実施に併せて、より便利になった成田空港を知ってもらう“認知度向上”を目的としたＰＲを実施した。

日時：平成２９年７月１日（土）１０時～１７時

場所：けやきウォーク前橋　１階けやきコート

内容：会員のＰＲチラシ等の配布（８００部）やステージイベントでのＰＲによる成田空港へのアクセス利便性の向上､国内線･国際線ネットワーク、ターミナル施設、千葉県観光などの紹介

イ ナリタファンの拡大に向けた取組

〇成田空港親子見学バスツアー

昨年度に実施した親子見学バスツアーに多数の応募があり、とても好評であったことから､今年度においても成田空港及びその周辺に親しむことにより、成田空港を身近に感じ､「ナリタファン」になっていただくため､バスツアーを実施した。

実 施 日：千 葉 発　平成２９年１０月２２日（日）
　　柏　　発　平成２９年１０月２９日（日）

参加者数：合計８０名

見 学 先：成田空港（ランプコントロールタワー)、航空科学博物館、
　　ＪＡＬ整備用格納庫

〇会員向け見学バスツアー

会員向けに、成田空港をより身近に感じ理解を深めていただくために空港の制限区域内の見学や空港周辺及び圏央道の将来展望などの説明を受けながら、圏央道の建設予定地等を見て回るバス見学を実施した。

実 施 日：平成２９年１０月２５日（水)、平成２９年１１月８日（水）

見 学 先：成田空港（ランプコントロールタワー、制限区域)、空港周辺施設、
　　空と大地の歴史館

（３）ビジネス支援事業

ア　会員の新たな事業・ビジネス展開に向けた協働の場づくり

〇成田空港からの二次交通等に関する研究会

昨年度に引き続き、千葉県旅館ホテル組合等 4 団体で構成する成田空港と外房地区を結ぶバス路線についての二次交通等の可能性を検討する研究会を実施した。

平成２８年度に行ったバス運行シミュレーションの試算・千葉県バス実証実験結果により、バス運行採算人員を確保することが難しいことがわかり、研究会のテーマを「インバウンド誘客」へと変更し、ランドオペレーター２社との意見交換会・現地視察を実施した。

１．事業の概要

●研究会のメンバー

地元自治体　（鴨川市、勝浦市）
地元観光業者（千葉県旅館ホテル組合）
地元観光団体（鴨川市観光協会、勝浦市観光協会）
地元商工会　（鴨川市商工会、勝浦市商工会）
千葉県（空港地域振興課、観光企画課、観光誘致促進課）
成田国際空港㈱

２．研究会の概要

●JTB ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ＆ﾄﾗﾍﾞﾙ（ＧＭＴ）との意見交換会に向けた事前説明会

日時：平成２９年７月２０日（木）13：00～14：00
場所：千葉県経営者会館
内容：①意見交換会　９月開催予定
②プレゼン準備
③現地視察　１１月～１２月開催予定
④海外からの旅行プラン組入

●ＧＭＴとの意見交換会のプレゼン打合せについて

日時：平成２９年８月２８日（月）14：00～15：20

場所：成田国際空港㈱

内容：①鴨川市プレゼン、質疑応答

②勝浦市プレゼン、質疑応答

③９月２２日意見交換会の注意事項等

●ＧＭＴとの意見交換会

日時：平成２９年９月２２日（金）14：30～16：30

場所：ＧＭＴ本社

内容：①ＧＭＴの事業説明

②鴨川市・勝浦市よりの魅力紹介

③質疑応答、意見交換

④現地視察会の実施

●ランドオペレーター（ＧＭＴ）による現地視察

日程：平成２９年１２月１１日（月）～１２月１２日（火）

内容：

① 鴨川市

・鴨川市長表敬訪問、鴨川シーワールド、ホテル視察（鴨川シーワールドホテル、鴨川館、鴨川グランドホテル、鴨川ユニバースホテル）

・鴨川ユニバースホテル宿泊

・農家民泊（太右ヱ門、五郎兵ヱ）、大山千枚田

② 勝浦市

・カッピービジターセンター、遠見岬神社、本行寺、松の家旅館、覚翁寺、高照寺、レンタサイクル周遊コース（八幡岬公園、官軍塚）、

・ホテル視察（勝浦ホテル三日月）

●二次交通研究会まとめ

日時：平成３０年３月１４日（水）13：00～14：40

場所：プラザ菜の花

内容：① ＧＭＴによる現地視察の感想・成果

鴨川市・勝浦市・旅館ホテル組合

② 千葉県観光誘致促進課よりバス補助事業の説明

③ ＧＭＴの商品化進捗状況

④ 二次交通研究会の総括

イ　経済活性化セミナー

○『第１回県内経済活性化ビジネスセミナー「圏央道開通で６つの高速道路と結ばれる成田空港」』の実施

平成２９年２月２６日に圏央道境古河 IC－つくば中央 IC が開通したことを受け、会員に千葉県・成田空港と東北・北関東が圏央道でつながる意義・効果から未開通区間（大栄 JCT－松尾横芝 IC）の早期開通の必要性を考える「平成２９年度第１回経済活性化ビジネスセミナー」を開催した。

併せて、今回の圏央道開通により、埼玉県東部を始めとした北関東と成田空港が直結したことを体感するバスツアーも開催した。

実施日：平成２９年４月１８日（火）

会　場：ホテル グリーンコア会議室（埼玉県幸手市）

内　容：

（１）セミナー

①『インフラ整備を取り巻く状況と道路整備』

講師　国土交通省関東地方整備局道路部　鈴木道路企画官

②『圏央道の開通の意義と期待』

講師　幸手市政策調整課　手島課長

③『圏央道の整備効果と成田空港をにらんだ物流戦略について』

講師　大和ハウス工業㈱　竹林事業部長

（２）圏央道体感ツアー

『成田空港と圏央道整備による千葉県の発展方向と課題』

講師　㈱ちばぎん総合研究所　小松調査部部長

参加者：１０３名

○『第２回県内経済活性化ビジネスセミナー「2020 年東京オリ・パラに向けてインバウンド観光のレガシーをつくろう！～千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査結果報告～」』の実施

平成２８年度に実施した「千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査」の調査結果について、会員のビジネスチャンスやインバウンド施策につなげるため、「2020 年東京オリ・パラに向けてインバウンド観光のレガシーをつくろう！～千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査結果報告～」と題したセミナーを、平成２９年度総会に併せて実施した。

実施日：平成２９年５月２６日（金）
会　場：三井ガーデンホテル千葉３階「平安」
内　容：テーマ「千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査」
　　講　師（株）ちばぎん総合研究所　調査部長　関　寛之　氏
参加者：１２７名

○『第３回県内経済活性化ビジネスセミナー「インバウンド観光需要をいかに千葉県経済の活性化につなげるか」』の実施

外国人有識者による知見を得ることで、戦略的にインバウンド対策に取り組むなど、会員等の理解をより一層高めることを目的として、デービッド・アトキンソン氏による特別講演を実施した。

実施日：平成２９年１１月２７日（月）
会　場：オークラ千葉ホテル
内　容：テーマ「インバウンド観光需要をいかに千葉県経済の活性化につなげるか」
　　講演者　デービッド・アトキンソン氏
参加者：１３７名

ウ　マーケットリサーチ

① 成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査の実施

平成２５年度に「成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査」を行い、調査結果を基に各種事業を展開した。調査を再度行うことで成田空港活用協議会の取り組みの成果を計る指標の１つとするとともに、成田空港活用協議会の会員が千葉県内の観光・産業振興の取り組みに幅広く活用するための基礎資料とすることを目的に実施した。

［調査の内容］

○調査期間：平成２９年８月３日から９日

調査方法：インターネットによるウェブ・アンケート調査

調査対象：全国の１５歳以上の男女６，１００人

調査項目:属性/成田空港の利用動向/成田空港国内線利用時の県内来訪動向/アクセス（２次交通）/成田空港利用前後の比較（対羽田空港）/国内線・ＬＣＣの認知度/成田空港の潜在的な利用ニーズ（未利用者が対象）

② インバウンド周遊動向調査の実施

会員企業及び団体からインバウンドの周遊動向に関する更なる深掘り調査の要望が寄せられたことから、千葉県を訪れるインバウンドの県外を含む周遊動向などを探り、会員企業・団体がインバウンドを呼び込むための基礎データを収集することを目的に「インバウンド周遊動向調査」を実施した。

［調査の内容］

○調査期間：平成２９年９月１１日から１１日３０日

調査方法：県内宿泊施設でのアンケート調査

調査対象：訪日外国人

調査項目：属性/今回の旅行について/千葉県について/周遊ルートについて

（４）要望活動

○首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

昨年度に引き続き、圏央道及び北千葉道路の整備推進に関する要望活動を、関係２団体とともに、国等関係先に対して行った。

実施日：平成２９年１１月２７日（月）

要望先：財務大臣、国土交通大臣、副大臣、政務官ほか国土交通省幹部職員及び県選出国会議員

同時に要望した関係団体：

千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟

首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

（５）会員提案の検討・実施

○会員提案の募集

本県の経済活性化につながる取組として、他の会員との連携・協働により実現したいこと及び協議会事業全般についての自由意見を募集した。

募集期間：平成２９年４月１０日（月）～４月２８日（金）まで

提案状況：① 他の会員との連携・協働で実現したいこと（２４件）

② 自由意見件数（３件）

○会員提案の検討・具体化（平成２９年度事業への取り入れ）

平成２９年度事業計画に位置付けられている以下の事業に会員提案を取り入れ実施した。

・北海道・千葉パークゴルフ交流大会及びモニターツアーの実施（Ｈ２６提案）
・スポーツツーリズムをテーマとした国内線就航先との連携（Ｈ２８提案）
・就航先メディア等を活用した千葉の魅力や成田ＬＣＣ等の情報発信（Ｈ２９提案）
・ランドオペレーターとの商談会の実施（Ｈ２６提案）
・県内の東葛エリアでのプロモーションの実施（Ｈ２９提案）
・北関東エリアの商業施設等でのイベント開催（Ｈ２８提案）
・成田空港からの二次交通の確保に向けた検討（Ｈ２７提案）
・国内線利用動向調査（Ｈ２９提案）
・圏央道の早期全線開通にかかる要望活動（Ｈ２５提案）
・北千葉道路整備の早期事業化にかかる要望活動（Ｈ２５提案）

（６）その他

○　協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースはもとより、各種メディア媒体の利用や報道機関へのアプローチを展開することにより、メディアへの露出を積極的に図った。

○　協議会の会員向けにメール等での情報発信を行い、会員間における活動状況や成果の共有を図った。

○　会員によるプロモーションと連携・連動し、協議会及び協議会会員のＰＲを行った。

（参考）会議等の開催状況

（１）総会

期　日：平成２９年５月２６日（金）

場　所：三井ガーデンホテル千葉

議　題：① 平成２８年度事業報告について

② 平成２８年度収支決算について

③ 平成２９年度事業計画（案）について

④ 平成２８年度収支予算（案）について

⑤ 役員の選任について

（２）臨時総会

期　日：平成２９年１１月２７日（月）

場　所：オークラ千葉ホテル

議　題：① 成田空港活用協議会の事業期間の延長について

② 規約の改正について

③ 役員の選任について

（３）幹事会

【第１回】

期　日：平成２９年５月１２日（金）

場　所：千葉県経営者会館２Ｆ特別会議室

議　題：（１）平成２９年度総会議案について

（２）総会に向けた確認事項について

【第２回】

期　日：平成２９年５月３０日（火）

場　所：千葉県経営者会館２Ｆ特別会議室

議　題：（１）報告案件

① 第１回県内経済活性化ビジネスセミナーについて

② 第２回県内経済活性化ビジネスセミナーについて

（２）事業採択案件

① 空港利用促進キャンペーンの展開について

② 就航先メディアを活用した情報発信について

③ ナリタファンの拡大に向けた取組について
④ マーケットリサーチ(成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査）について
（３）協議事項
○ 成田空港活用協議会の今後のあり方について

【第３回】
期　日：平成２９年６月２１日（水）（書面による事業採択）
議　題：（１）事業採択案件
○ 北海道との相互交流の促進について

【第４回】
期　日：平成２９年８月８日（火）
場　所：千葉県経営者会館２Ｆ特別会議室
議　題：（１）報告案件
○ 空港利用促進キャンペーンの展開について（北関東向け）
（２）事業採択案件
① 女子旅×成田ＬＣＣの更なる展開について
② ＪＴＢグローバルマーケティング＆トラベルとの意見交換会について
③ マーケットリサーチ（インバウンド周遊動向調査）について
（３）協議事項
○ 成田空港活用協議会の今後のあり方について

【第５回】
期　日：平成２９年９月４日（月）
場　所：千葉県経営者会館２Ｆ特別会議室
議　題：（１）報告案件
① 空港利用促進キャンペーンの展開について
・県内金融機関等での成田空港ＰＲポスターの掲出及びチラシの配布
・東葛地区でのプロモーション
② 北海道との相互交流の促進について
（２）協議事項
○ 成田空港活用協議会の今後のあり方について

【第６回】

期　日：平成２９年９月２２日（金）

場　所：千葉県経営者会館２Ｆ特別会議室

議　題：（１）協議事項

○ 成田空港活用協議会の今後のあり方について

【第７回】

期　日：平成２９年１１月１６日（木）

場　所：千葉県経営者会館２Ｆ特別会議室

議　題：（１）協議事項

① 成田空港活用協議会の今後のあり方について

② 平成２９年度臨時総会議案について

③ 臨時総会に向けた確認事項について

【第８回】

期　日：平成２９年１２月１２日（火）（書面による事業採択）

議　題：（１）事業採択案件

○ ランドオペレーターとの商談会・交流会の実施について

【第９回】

期　日：平成３０年２月２日（金）（書面による事業採択）

議　題：（１）事業採択案件

① スポーツツーリズムをテーマとした就航先との交流促進

② 海外向け誘客促進

【第 10 回】

期　日：平成３０年３月７日（水）

場　所：千葉県経営者会館２Ｆ特別会議室

議　題：（１）協議事項

○ 事業計画（素案）の策定について

（２）報告案件

① 北海道との相互交流の促進について

② ナリタファンの拡大に向けた取組について

③ 空港利用促進キャンペーンの展開について

④ マーケットリサーチについて（国内線利用動向調査）
⑤ 第３回県内経済活性化ビジネスセミナー
⑥ 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

【第 11 回】
期　日：平成３０年３月２８日（水）
場　所：千葉県経営者会館２Ｆ特別会議室
議　題：（１）協議事項
① 平成２９年度事業報告（素案）及び決算（見込み）について
② ５年間の事業計画（素案）
③ 平成３０年事業計画（素案）及び予算（素案）について
④ 平成３０年度総会次第（案）について
（２）事業採択案件
○ 平成３０年度第１回県内経済活性化ビジネスセミナーについて
（３）報告案件
① 就航先メディアを活用した情報発信について
② 女子旅×成田ＬＣＣの更なる展開について
③ 二次交通研究会
④ マーケットリサーチについて（インバウンド周遊動向調査）
⑤ ランドオペレーターとの商談会・交流会の実施について
⑥ スポーツツーリズムをテーマとした就航先との交流促進
⑦ 海外向け誘客促進

議案第2号

平成29年度　収支決算

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

【収入の部】　（単位：円）

科　目	予算額①	決算額②	差引き ②−①	摘要
1. 負担金	46,700,000	46,700,000	0	
2. 会　費	7,750,000	7,750,000	0	
3. 繰越金	9,157,761	9,157,761	0	
合　計	63,607,761	63,607,761	0	

【支出の部】　（単位：円）

科　目	予算額 ①	事業間振替額 ②	最終予算額 ①＋②	決算額③	差引き ①＋②−③	摘要
1. 活動費	44,500,000	0	44,500,000	33,383,249	11,116,751	
（1）誘客促進費	19,000,000	0	19,000,000	16,662,436	2,337,564	
国内線就航先との交流促進	15,000,000		15,000,000	14,286,201	713,799	北海道との交流促進（ﾊﾟｰｸｺﾞﾙﾌ）、学生ｱｲﾃﾞｱ（女子旅×成田LCC）、ｽﾎﾟｰﾂﾂｰﾘｽﾞﾑ（野球ｵｰﾌﾟﾝ戦）就航先ﾒﾃﾞｨｱ（北海道ﾒﾃﾞｨｱ）
海外向け誘客促進	4,000,000		4,000,000	2,376,235	1,623,765	ﾗﾝﾄﾞｵﾍﾟﾚｰﾀｰとの商談会実施、海外向けWEB発信
（2）空港利用促進費	7,000,000	0	7,000,000	3,687,730	3,312,270	
関東圏でのナリタPR	3,000,000	89,000	3,089,000	3,088,864	136	北関東（前橋）、金融機関ﾎﾟｽﾀｰ、東葛地区PR（柏）
ナリタファン	4,000,000	△89,000 ﾅﾘﾀPRへ振替	3,911,000	598,866	3,312,134	親子ﾊﾞｽﾂｱｰ、会員向けﾊﾞｽﾂｱｰ
（3）ビジネス支援費	14,500,000	0	14,500,000	10,854,384	3,645,616	
協働の場づくり	2,000,000		2,000,000	289,223	1,710,777	二次交通ﾜｰｷﾝｸﾞ
経済活性化セミナー	3,000,000		3,000,000	2,278,612	721,388	圏央道ｾﾐﾅｰ、ﾏｰｹｯﾄﾘｻｰﾁｾﾐﾅｰ、臨時総会特別講演
マーケットリサーチ	9,500,000		9,500,000	8,286,549	1,213,451	来県者動向調査、ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ周遊動向調査
（4）活動共通費	4,000,000	0	4,000,000	2,178,699	1,821,301	総会・臨時総会費用、広告掲載
2. 運営費	17,800,000	0	17,800,000	17,311,981	488,019	
（1）人件費	13,500,000	△21,000 管理費へ振替 △62,000 事務費へ振替	13,417,000	12,929,905	487,095	事務局職員給与、諸手当等
（2）管理費	3,300,000	21,000	3,321,000	3,320,227	773	賃室料、事務机・パソコンリース代等
（3）事務費	1,000,000	62,000	1,062,000	1,061,849	151	印刷費、電話代他
3. 予備費	1,307,761	0	1,307,761	0	1,307,761	
（1）予備費	1,307,761	0	1,307,761	0	1,307,761	
合　計	63,607,761	0	63,607,761	50,695,230	12,912,531	

＊　事業間振替は、事業採択時において幹事会に図ったものである。

【収支差額】　（単位：円）

科　目	金　額	摘　要
収入の部	63,607,761	
支出の部	50,695,230	
収支差額	12,912,531	

＊平成29年度の収支差額については、全額を平成30年度に繰り越して用いる。

平成２９年度 成田空港活用協議会監査結果について

平成２９年度成田空港活用協議会決算について、平成３０年４月２４日及び４月２５日に監査したところ、適正に執行されていると認める。

平成３０年４月２５日

成田空港活用協議会

監　事　平　栄　三

監　事　和泉善久

議案第３号

平成３０年度 事業計画（案）

《事業展開方針》

国が２０２０年の訪日外国人旅行者数の目標４０００万人を掲げる中、「訪日外国人旅行客の飛躍的増加」「成田空港の更なる機能強化実施に関する合意」「高速道路網の整備進展」など、成田空港及び千葉県を取り巻く環境が大きく変化しています。

また、２０２０年には東京オリンピック・パラリンピック開催を迎え、成田空港を利用する人流・物流がさらに拡大していく中、会員の新たなビジネス展開に資する連携・協働の事業や情報の提供に取り組み、より一層のプラットフォーム機能を発揮し、成田空港の成長と千葉県経済の活性化を図っていく。

○ 活用協議会の事業展開において目指すもの

● 今後の事業展開おいては、以下の３項目の達成を目指す。

・会員自身による事業・施策としての創出・自走化促進

・「オール千葉」の力を発揮するための会員との連携・協働強化

・過去５年間の成果の更なる拡大と事業テーマに沿った事業の推進

● 協議会の目指す上記３項目を達成するために、より一層のプラットフォーム機能を発揮し、事務局・会員間の連携の強化、会員相互の連携・協働体制の構築・強化を図り、会員が主体となる事業の創出・自走化を促進する。

○ 活用協議会の「事業の柱」と事業テーマ

● 活用協議会の目的をより端的に表した以下の２項目を「事業の柱」とし、目的を達成するために６つの事業テーマに沿って事業を進めていく。

【事業の柱１】成田空港を活用した経済活性化

【事業の柱２】成田空港を利用する人流・物流の拡大

（事業テーマ）

①空港周辺・圏央道等への産業集積を促進する事業

②成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業

③県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業

④東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業

⑤県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業

⑥過去５年間の成果を更に拡大していく事業

《事業内容》

（１）６つの事業テーマ

①　空港周辺・圏央道等への産業集積を促進する事業

○　産業集積のために必要かつ実践的な情報・　知見を広く共有することにより、成田空港や道路交通網の整備進展等を見据えたタイムリーな施策を講じることが可能な連携・協働体制を構築する。

［展開イメージ］

① 圏央道全線開通を見据えた企業誘致に向けた取組　　等

②　成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業

○　成田空港の機能を活用した新しいビジネスの創出から成長に至るスキームを構築することにより、その経済効果が他のビジネスに波及し、かつ新たな起業を誘引する経済成長サイクルを確立する。

［展開イメージ］

① ※CHIBA ビジコンとの連携による新規事業創出の促進
② アジア経済圏におけるマーケティング
③ アクティビティ（体験型）商品開発　　等

※CHIBA ビジコン（ちば起業家ビジネスプランコンペティション）とは
県内のニーズに対応した新たな発想・新たな手法による千葉発の起業を積極的に応援するためビジネスプランコンペティションを実施。県内での起業を前提とした内容で、千葉県の課題解決につながるビジネスアイデア・ビジネスプランを広く募集して選考、表彰、支援することで、経済の活性化を目指すものです。

③　県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業

○　県・市町村の「地方創生」を目指す施策を、成田空港及び空港とつながる幹線道路や鉄道の活用という視点から、その他の会員及び関係団体等との連携・協働を促進又は支援することにより、県内の定住人口や交流人口の拡大に寄与する。

［展開イメージ］

① 日本遺産等を活用した誘客促進
② 空港の雇用拡大に伴う移住・定住の促進　　等

④　東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業

○　東京オリンピック・パラリンピック大会を契機として、成田空港を起点・終点とする人流の拡大に対応するため、受入体制の整備を促進することにより、大会の開催効果のより広域への波及と大会後における観光等での取組の恒常化に寄与する。

［展開イメージ］

① ユニバーサルツーリズムの促進
② 競技開催地とホストタウンや周辺地域が連携した情報発信・観光誘客等の促進　　等

⑤　県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業

○　県内教育機関と会員の連携・協働による効果的でシームレスな人材育成施策の展開を促進することにより、成田空港及び空港・航空関連産業における人材について、その確保と需給マッチングの向上による雇用機会の質的な拡大を実現する。

［展開イメージ］

① 将来的な人材育成を行うための調査・検討
② 教育機関と連携した学生を対象とした取組　　等

⑥　過去5年間の成果を更に拡大していく事業

○　これまでの活動を通じて得た知見等を活用した会員提案と相互連携という手法により、成田空港の利便性と県内観光の魅力を国内外に効果的に情報発信していくことで、成田空港の利用拡大を推進する。

［展開イメージ］

① 県内観光情報・成田空港の魅力発信
② 千葉・北海道交流のフォロー　　等

○　成田空港をより積極的に利用してもらえるよう、成田空港の豊富なネットワークやターミナル、アクセス利便性のＰＲ・情報発信キャンペーンを、時機を捉えて効果的に展開していく。

［展開イメージ］

① 時機を捉えた空港利用促進ＰＲ　　等

○　成田空港や千葉県を取り巻く現状や 県内経済の最新動向及び今後の見通しなどを会員間で共有するとともに、会員の事業展開に資するセミナー等を開催する。

［展開イメージ］

① インバウンド調査（県内の周遊動向）に関するセミナーの開催
② 会員のニーズや時流等を踏まえたセミナーの開催　　等

（２）基本的な取組

○ 要望活動

・ 成田空港の利便性向上のため、関連する団体と連携しながら、国等関係機関に対する要望を実施する。

○ 会員相互の情報共有

・ 協議会の活動を広報するため､各種媒体の積極的な利用やプレスリリースを展開するとともに、会員向けにメールニュース等による情報発信を行い、会員間において活動状況や成果の共有を図る。
・ 会員企業･団体の広報媒体の活用や､会員が主催するイベントへの協賛･後援等、会員による広報・プロモーションと連携・連動した取組について、会員のニーズを踏まえ検討・実施していく。

○ 事業の見直し（会員提案の検討・実施）

・ 協議会の事業展開の方向に沿った事業提案や幅広い意見・アイデア等について、引き続き募集し、事業化に向けて取り組んで行く。
・ 会員からの提案（意見・アイデア等）を協議会事業に反映させるため、情報・ノウハウを有する会員と積極的にコミュニケーションを図り､事業連携ができる会員同士を結び付けて事業を展開する。
・ 会員提案を踏まえて、事業計画の見直しを適宜行っていく。

議案第４号

平成３０年度 収支予算（案）

平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで

【収入の部】　（単位：千円）

科　目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減額	摘要
1. 負担金	46,700	46,700	0	
2. 会　費	7,900	7,750	150	1 口 50 千円
3. 繰越金	12,912	9,157	3,755	
合　計	**67,512**	**63,607**	**3,905**	

【支出の部】　（単位：千円）

科目		本年度 予算額	前年度 予算額	増減額	摘要
1. 活動費		**46,000**	**44,500**	**1,500**	
	(1)ビジネス支援費	40,000	14,500	25,500	①空港周辺・圏央道等への産業集積を促進する事業(12,000) ②成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業（10,000） ③県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業（5,000） ④東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸをはじめとする時機を捉えた事業（5,000） ⑤県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業（3,000） ⑥過去５年間の成果を更に拡大していく事業(5,000)
	(2)空港利用促進費	2,000	7,000	△5,000	⑥過去５年間の成果を更に拡大していく事業（空港利用促進PR事業）（2,000）
	(3)活動共通費	4,000	4,000	0	旅費,会議費,広報宣伝費（ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ・ﾎﾟｽﾀｰ作成費・その他広告費）等
	(4)誘客促進費	0	19,000	△19,000	
2. 運営費		**17,500**	**17,800**	**△300**	
	(1)人件費	14,000	13,500	500	事務局職員給与,諸手当等
	(2)管理費	2,500	3,300	△800	事務所賃料，事務機器リース料等
	(3)事務費	1,000	1,000	0	消耗品費，印刷製本費，手数料等
3. 予備費		**4,012**	**1,307**	**2,705**	
	(1)予備費	4,012	1,307	2,705	会員提案や活動費等に充当
合　計		**67,512**	**63,607**	**3,905**	

※誘客促進費は、空港利用促進費に含む。

[負担金企業・団体会員　14]

（単位：千円）

千葉県	２５，０００
成田国際空港株式会社	２０，０００
成田市	６００
一般社団法人千葉県商工会議所連合会	１００
千葉県経済同友会	１００
一般社団法人千葉県経済協議会	１００
一般社団法人千葉県経営者協会	１００
千葉県商工会連合会	１００
千葉県中小企業団体中央会	１００
東日本旅客鉄道株式会社千葉支社	１００
京成電鉄株式会社	１００
一般社団法人千葉県バス協会	１００
一般社団法人千葉県タクシー協会	１００
公益社団法人千葉県観光物産協会	１００

[市町村会員 45]

■ ３口（15万円）

富里市	栄町	芝山町
香取市	神崎町	横芝光町
山武市	多古町	

■ １口（５万円）

千葉市	鴨川市	酒々井町
銚子市	鎌ケ谷市	東庄町
館山市	君津市	九十九里町
木更津市	四街道市	一宮町
松戸市	袖ケ浦市	睦沢町
茂原市	八街市	長生村
佐倉市	印西市	白子町
東金市	白井市	長柄町
旭市	南房総市	長南町
柏市	匝瑳市	大多喜町
勝浦市	いすみ市	御宿町
市原市	大網白里市	鋸南町
我孫子市		

[企業・団体会員 90]

■ ２口（10万円）

㈱京葉銀行
㈱千葉銀行
㈱ちばぎん総合研究所
㈱千葉興業銀行
千葉テレビ放送㈱
㈱千葉日報社
㈱ベイエフエム

■ １口（５万円）

アイベックスエアラインズ㈱
㈱秋葉牧場
阿部建設㈱
㈱飯沼本家
イオン㈱
泉観光バス㈱千葉営業所
㈱ＮＡＡリテイリング
㈱オリエンタルランド
Ｏｒａｎｇｅ㈱
㈱かずさアカデミアパーク
㈱鏑木商会
㈱北四国産業
㈱近畿日本ツーリスト首都圏千葉支店
㈱グランビスタ ホテル＆リゾート 鴨川シーワールド
㈱グリーンポート・エージェンシー
京成トラベルサービス㈱
京成バス㈱
（公財）航空科学博物館
国際空港上屋㈱
小湊鉄道㈱
㈱坂戸工作所
参光タクシー㈱
㈱ＪＴＢ千葉支店
ジェットスター・ジャパン㈱
芝山鉄道㈱
春秋航空日本㈱

全国農業協同組合連合会千葉県本部

全日本空輸㈱成田空港支店

㈱相互

ダイユウホーム㈱

千葉インバウンド促進協議会

(一財)千葉県勝浦海中公園センター

千葉県ゴルフ協会

千葉県市町村職員共済組合

オークラ千葉ホテル

千葉県酒造組合

千葉県酒類販売㈱

千葉県貿易協同組合

千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合

千葉県レクリエーション都市開発㈱

(一社)千葉県レンタカー協会

㈱千葉交タクシー

千葉交通㈱

千葉構内タクシー㈱

(公財)ちば国際コンベンションビューロー

千葉商工会議所

千葉中央バス㈱

千葉トヨペット㈱

塚本總業㈱

㈱ティエフケー

東京ガス㈱佐倉支社

東京空港交通㈱

㈱トヨタレンタリース新千葉

㈱トヨタレンタリース千葉

成田空港交通㈱

成田空港レンタカー協議会

大本山成田山新勝寺

(一社)成田市観光協会

成田商工会議所

(一社)成田スポーツコミッション

成田タクシー㈱

成田地区ホテル業協会

日東交通㈱

日本航空㈱

㈱日本旅行千葉支店

バニラ・エア㈱

ビィー・トランセホールディングス㈱

東日本高速道路㈱
関東支社千葉管理事務所

東日本電信電話㈱
千葉事業部

平山建設㈱

福井電機㈱

船橋交通㈱

県立房総のむら

北総鉄道㈱

㈱幕張メッセ

㈱マザー牧場

松崎交通㈱

㈱ＭＡＴＣＨＡ

三田下総交通㈱

三井不動産㈱

三菱地所・サイモン㈱
酒々井プレミアム・アウトレット

ユアサ・フナショク㈱

米屋㈱

ラオックス㈱千葉ポートタウン

■ 会員数合計　149
（平成30年5月25日現在）